

モンゴル経済トピック（2009年9月）

今月の主なトピック

- モンゴルのビジネス規制緩和レベルは183カ国中60位（経済）
- モンゴル企業が新たな石油代替燃料を開発（経済）
- IMFがモンゴルに対し2,500万米ドルを融資（経済協力）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 8月31日、エルベグドルジ大統領はグリーンウッド・アジア開発銀行（ADB）副総裁らと会談を行った。会談でグリーンウッド副総裁は、モンゴル経済の回復に向けて、モンゴルの銀行業界と協力する関心がある旨表明したほか、民間企業と協力してタバントルゴイ炭鉱から中国国境までの線路敷設計画を実施する用意がある旨述べた。現在、同計画に対する融資の契約締結に向けてモンゴル政府と協議中とのことである。（AE1）
- 世界銀行が、毎月発表するモンゴルの経済概況に加え、2008年7月から2009年7月までの経済財政指標の比較調査を行った。同調査の結果に基づきA. サイド世界銀行モンゴル事務所代表は「モンゴル経済は回復の兆しを見せている。」との見解を示した。（UN8）
- 国際金融公社（IFC）と世界銀行が共同で作成した報告書「ビジネス環境の現状2010」に掲載された各国のビジネス環境の規制緩和総合ランキングで、モンゴルは183カ国中60位となり、昨年から2つ順位を落とした。（MM10）
- 10日、国家統計委員会は2009年8月の社会経済指標を発表した。消費者物価指数は前月比0.6%減、前年同期比0.6%増。財政収支は3,345億トグログの赤字、貿易収支は18億6,400万米ドルの赤字。（UN11）
- 17日、モンゴル及び欧州連合（EU）間のパートナーシップ協力協定の締結に向けた協議が正式に開始された。同協定には、経済、教育、文化、科学などあらゆる分野における協力が盛り込まれる予定であり、今年中の締結を目指すことで双方が合意した。（US18）

2. 経済協力

- 4日、国連児童基金（UNICEF）によるオブス県など5県の計21郡及びウランバートル市の7つの区の幼稚園に対する物資の引渡式が行われた。オ

ランダ政府の拠出金を活用した同支援では1億5千万トグログ相当のゲル及び調度品などが供与された。(AE7)

- 9日、バヤルツォグト大蔵大臣、マーク・ミントン駐モンゴルアメリカ大使及び米国国際開発庁代表は、アメリカからモンゴルに対する約750万米ドルの無償資金協力に関するモンゴル・アメリカ政府間協定に署名した。約750万米ドルのうち約690万米ドルについては、モンゴル国の経済成長政策向けに来年供与される。残りの約60万米ドルは、汚職対策庁の能力向上に活用される予定である。(SH10)
- アメリカのミレニアム挑戦公社(MCC)は対モンゴル支援について、当初予定していた4つのプロジェクトのうち、鉄道プロジェクトに対する1億8,800万米ドルの支援を、ロシア政府の関与を理由に取り消した。1億8,800万米ドルの内5,000万米ドルは、残りの3つのプロジェクト(都市周辺の牧草地管理、専門教育、保健)に対する追加支援として供与され、剰余分は新規プロジェクトに対する支援となる予定である。モンゴル側は新規プロジェクトとして、ゴビスンベル県チョイルからドルノド県サインシャンドまでのアスファルト舗装道路建設、ウランバートル市大気汚染対策、家畜診療改善等の計画を提案している。(ZM11)
- インドを訪問したエルベグドルジ大統領はパティル大統領と会談を行った。会談の中でエルベグドルジ大統領は政治及び農業などにおける協力を促進するとともに、情報技術、鉱業及び自然環境保護などの分野での協力をより緊密にする意向を示した。これに対しパティル大統領は、「両国の文化・歴史などの伝統的な分野以外に鉱業、原子力エネルギー及び安全保障などの新しい分野においても協力する必要がある。」と応じた。また今次のエルベグドルジ大統領のインド訪問の際に、関係当局間で、保健医療協力協定、2009-2012年の文化協力プログラム、放射性鉱物資源及び原子力エネルギーの平和利用に関する覚書などの文書に署名が行われた。(AE16、NT17)
- 国際通貨基金(IMF)は21日の理事会で、モンゴル政府による経済危機対策計画について上向きの成果が見られると評価し、2,500万米ドルの融資(IMFの対モンゴル経済危機対策資金(総額2億2,900万米ドル)の内、モンゴルにより借用権が行使されていなかった第3回目の融資分1億2,500万米ドルの一部。)を決定した。(SH23)
- 欧州連合(EU)は、現在実施している技術支援「家畜保健及び牧畜業市場計画」の一環として、同分野の政府系及び民間機関に340万ユーロ相当の機器を供与することを決定した。

3. 金融

- 10日、国家統計委員会は、2009年社会経済指標を発表した中で、国内銀行の不良債権について、総額3,551億トグログに達し、債権総額の13.7%を占めているとした。

- プレブドルジ・モンゴル中央銀行総裁は記者団の質問に対し、アノド銀行の存続の可能性は極めて低いとの見解を示した。(US24)

4. 貿易等

- 道路・運輸・建設・都市計画省が管轄する海事当局職員の話によると、現在モンゴルと中国政府の間で、モンゴルの天津港における区画借用についての協議が行われているという。モンゴル側は同区画を利用してモンゴル特区を設置し、今後の海運拠点とすることを目指している。(AE25)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

- 9日、石炭、廃棄物及び植物から抽出したエタノールを原料とした新たな石油代替燃料の販売開始式が行われた。新たな燃料はウランバートル市大気汚染対策室の支援の下、オルギル・オイル、ペトロヴィスの両社が共同開発した。(US10)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

- 23日、韓国の国際保健支援財団はバヤンズルフ区病院に対し、総額34,000米ドル相当の医療機器を供与した。また児童及び女性を対象に、韓国人の医師による無料内科診断も実施された。(UN24)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙)

(了)